

テーマ名: 住宅建設のコスト低減とゼロエミッション化に貢献する瓦のプレカットとカット残片のリサイクル一貫事業

事業計画の概要:

- ・近年、住宅建築においても工期短縮、コスト削減、廃棄物の抑制の観点から部材の工場生産が進展している。瓦については、寸法制度が十分でない、屋根の角や谷になる部分のカット成型は現場でしか行えなかった。
- ・本連携事業は、(株)伍社と(株)マドックとの共同開発により、納入された瓦の寸法誤差を補正するノウハウを開発し、屋根の施工設計図を基に裁断が必要な瓦の数と形を割り出し、自動で切断システム(屋根材自動割付積算CADソフト)を用い、実用的な工場において一括切断し納入する手法(プレカット)を事業化するもの。
- ・プレカットの工程で発生するカット残片を、(株)大塚産業が有する瓦を粉砕し培養土や内装材の建築資材にリサイクルする技術により、住宅建設現場に納入し、住宅建築のゼロエミッション化に貢献する事業を展開する。

連携参加者:

コア企業: (株)伍社(愛知県名古屋市:その他の土木建築サービス業)
連携企業等: (株)マドック、(株)大塚産業

連携体の構成

瓦のプレカット技術・ノウハウ

コア企業: (株)伍社
 ・瓦のプレカットの実施

屋根材自動割付積算CADソフト

(株)マドック
 ・屋根材自動割付積算CADソフトの提供(特許申請、(株)伍社と独占使用契約)

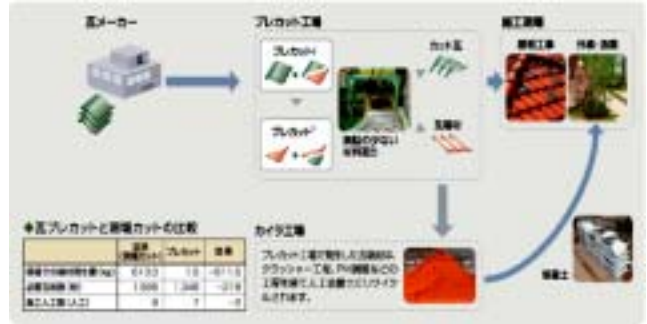
リサイクル建材の製造

(株)大塚産業
 ・瓦のカット残片を建築資材に加工

協力企業(瓦施工業)

(株)マツザワ瓦店
 ・屋根工事の受注と現場施工

「ダイワハウス工業(株)(環境・社会報告書2004)より抜粋」



連携の特徴

- ・大手ハウスメーカーともネットワークを有するコア企業が、ソフト開発企業と連携することにより、新事業を展開。
- ・リサイクル技術を有する企業と連携することで、リサイクル一貫事業を実現。

新事業

- ・屋根材自動割付積算CADソフトの開発により瓦の事前加工(プレカット)を実現!
- ・カット残片も建築資材としてリサイクルすることにより、住宅建設のゼロエミッション化に貢献。

市場性

- ・国内の住宅着工建設は年間約50万棟、うち大手ハウスメーカーによるもので、さらに瓦を使用するものは6万棟。瓦カット市場は年間50億円。
- ・5年後には、大手ハウスメーカーにおけるプレカット需要の30%のシェア確保を目標とする。

支援予定メニュー

新連携融資(中小公庫) 新連携対策補助金(事業化・市場化支援事業)
 設備投資減税 ソフト支援(専門家による販路開拓支援) 等